CNP(カーボンニュートラルプロジェクト) 通信

2023/8/18

通信No.11

近年、山火事が世界各地で発生しています。8月8日にはハワイ州マウイ島で大規模な山火事が発生しました。
今回は山火事の発生原因を知り、それによる二酸化炭素の大量発生を防ぎ、最悪な事態にならないようそなえましょう。

2023年に起きた世界の山火事

8月　フランス
500Haが焼失

8月　スペイン・カナリア諸島
3800人が避難

8月　ポルトガル
8400Haが焼失

7月　ギリシャ
2万人以上が避難

5月　カナダ
今年だけでも1000カ所以上の山火事が発生
1万8000人以上が避難
煙がニューヨークまで及び大気汚染をもたらした

8月　ハワイ・マウイ島
2200棟以上が損壊

2月　チリ
多数の森林火災が発生
30万Haが焼失

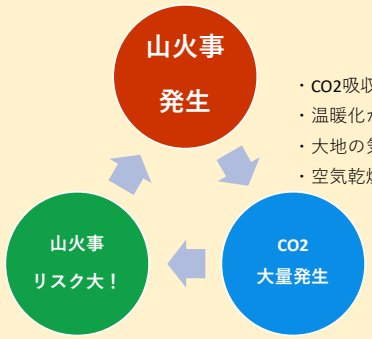
山火事の発生には「自然発火」と「人為的原因」があります。

■自然発火　高い気温、乾燥、落雷、噴火、があげられます。
乾燥は、乾燥によって落葉の水分が失われ、枯葉同士の摩擦熱で廻りの枯葉や木々に燃え移り発生します。

■人為的原因　焚火、農業の火入れ(野焼き)、放火、タバコ、電線のショートがあげられます。
日本の山火事は焚火が最も多い(約30％を占める)原因です。

山火事は乾燥や強風により飛び火が拡大し、消火してもなかなか消えません。
そして気象情報を分析するEUの機関では、カナダで今年発生した山火事による二酸化炭素排出量は
約**2億9000万トン**だとしています。山火事は続いており、排出量は更に増えるとみられています。

負の連鎖が起きています



藍藻(ランソウ)

絶滅したアンモライト

一つだけの地球

約35億年前に海にいた藍藻（ランソウ）が光合成を行って酸素を海中に放出しはじめ、約20億年前頃からあとは､水の中から酸素が大気中に出て、オゾン層を形成しだしました。オゾンというバリアができたことによって、生物は陸に進出することができるようになりました。しかし古世代末期の約2億5100万年頃、地球歴史上最大の大量絶滅が発生しました。これにより90％近くもの生物たちは絶滅し、特に海洋生物たちは96％が死に至りました。この絶滅の原因には最も有力視されているものが「酸素の急激な減少」です。
大規模な山火事が発生すると、多くの木々が焼失します。「酸素の急激な減少」につながりかねません。そうなれば、山に住む動物たちだけでなく、私たち人間も生活ができなくなります。
そうならない為にもカーボンニュートラル活動が急務だと思います。

2023年 再エネ電気のＪクレジット金額

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
再エネ クレジット	¥4,545	¥6,120	¥3,516	¥3,347	¥1,196								¥18,724
換算 3890/t-co2	1.17	1.57	0.90	0.86	0.31	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	4.81
「杉の木」換算	83 本	112 本	65 本	61 本	22 本	0 本	0 本	0 本	0 本	0 本	0 本	0 本	344 本